



## 北海道銀行

### ニセコリゾートへの 橋頭堡



マリブジャパン  
代表取締役

高橋克英

パウダースノーで世界的に有名な北海道のニセコリゾート。現在、スキー・スノーボードシーズン真っ盛りだ。中核ホテルの一つ、ヒルトンニセコビレッジの館内表記は、日本語より英語が先にあり、寿司屋の板前は相手が日本人でもまずは英語で話しかけてくる。宿泊客や利用客の大半が外国人だからだ。

外国資本による別荘やコンドミニアムの開発もあり、外国人観光客だけでなく、外国人居住者の増加が続く。地元

の俱知安町の基準地価（住宅地）は28・6%増加と2年連続全国トップの上昇率だ。今後も、パークハイアット、ザ・リッツ・カールトンなど外資系最高級ホテルやコンドミニアムの建設が予定され、国際的な一大リゾートに生まれ変わっている。

こうしたなか、北海道銀行は2016年末にNISEKO事務所を開設し、投資動向などの情報収集、観光振興活動への参画・サポートを行っている。また、海外カード対

応ATMを富裕層向けコンドミニアムに設置し、外貨両替機も外国人利用が多いスパーに新設。俱知安町・ニセコ町とは地方創生に関する包括連携協定を締結している。

しかし、正直なところ、出遅れ感があり、物足りない対応である。実は、ニセコでの海外富裕層による不動産投資ニーズに、地元の不動産業者も銀行もほとんど応えられていない。オーストラリアやニュージーランド、アジアの海外不動産業者やプライベートバンクと海外富裕層との間で独自のネットワークが形成され、日系企業はほとんど参入できていないのだ。

ニセコ町の分析では、民間消費や観光業の生産額は町外に流出超過。町民所得や町の財政力指数も相対的に低く、観光客や投資の増加が地域の稼ぎに十分つながっていないとしている。北海道新幹線の延伸と新駅予定もあるなか、アジア・オセアニアにネットワークを持つメガバンクの拠点がニセコ地区にあっても不

思議ではないが、まずは銀行の提携ATMが1台あるだけだ。全国各地でインバウンド需要が高まるなか、金融機関の対応がATMと両替機だけではあまりにも寂しい。貸出や資産運用につなげてこそ、金融機関のインバウンド対応と言えるはずだ。ライバルである北洋銀行の俱知安支店では、11年から外国為替取引を強化し、収益も拡大している。

北海道銀行は、ニセコ地区でのフルバンキング支店の開設により、海外送金や両替に貿易関連を含めた外国為替取引、地元建設業者や不動産業者への貸出、外貨預金や不動産投資を含めた内外の富裕層向けの資産運用などが展開できるのではないだろうか。ほくほくフィナンシャルグループの海外ネットワークを活用し、海外不動産業者との連携や情報提供も可能であろう。

ニセコ興隆のなかで本邦金融機関が蚊帳の外では、あまりにもつたいない。地元金融機関の雄として、橋頭堡を築いた同行の奮起に期待したい。